

【県立高校学力向上基盤形成事業】ジグソー法を用いた協調学習授業 授業案

学校名： 埼玉県立松山女子高等学校 授業者： 中山 厚志

教材作成者： 中山 厚志

授業日時	平成 23 年 6 月 16 日 (木)	教科名	英 語
学年	2 学年	生徒数	21 人
単元 (題材)	進行形、動名詞、 現在分詞	本時 / 全時数	

授業のねらい
動名詞、現在分詞をライティングで取り上げ、それぞれの単元で学んだが、使い方が分からず混同する生徒が多い。学んだ3つの事柄を整理させ、違いを明確にし、使い方を理解できるようにする。
授業の柱となる課題 (ジグソー活動の課題)
3枚の絵の状況について、進行形、動名詞、現在分詞で表した文を研究させることにより、それぞれについて理解を深める。
課題に対して出してほしい答え (課題について子どもたちに語ってほしいストーリー)
進行形、動名詞、現在分詞について、それぞれの使い方を発表できる。また、絵を見て、その状況を進行形、動名詞、現在分詞を使い分けて文を作ることができる。
各エキスパート (答えを出すための部品)
<各エキスパートの資料内容・課題・つかんでほしいキーワードなどを書いてください>
A : 進行形を使った英文研究、作文 B : 動名詞を使った英文研究、作文 C : 現在分詞を使った英文研究、作文
ジグソー活動でわかったことを踏まえて取り組ませたい発展的な課題 (なしでも可)
グループ編成
エキスパート活動 A : 3人×2グループ B : 3人×3グループ C : 3人×2グループ
ジグソー活動 3人×3グループ、4人×3グループ

学習活動のデザイン

時間	学習活動	支援等
13:45	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の内容を伝える。 《導入～個人研究》 ・ 絵を見てその状況を、進行形、動名詞、現在分詞を用いて作文する。 ・ 進行形、動名詞、現在分詞について、知っていることや学んで覚えていることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進行形、動名詞、現在分詞を生徒同士で学び合うことを目的とすることを説明する。 ・ 進行形、動名詞、現在分詞については何もアドバイスしない。 ・ 何も見ないで、事前ワークシートに取り組みさせる。
13:55	<ul style="list-style-type: none"> 《エキスパート活動》 ・ 3人班を作り、それぞれの班にA（進行形）、B（動名詞）、もしくはC（現在分詞）の課題を与える。 ・ それぞれについて、SEED総合英語や授業ノートを参考に、グループ学習で、与えられた文法事項を説明したり、作文できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの文法事項を3人の協同作業により研究することを伝える。 ・ 次の活動で、個々の生徒が別のグループに行き、自分たちの研究結果を発表することを伝える。
14:05	<ul style="list-style-type: none"> 《ジグソー活動》 ・ 研究したことをお互い報告し合い、進行形、動名詞、現在分詞について、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この活動の後、もとの班に戻り、進行形、動名詞、現在分詞について聞いてきたことを持ち寄り、さらに話し合いをすることを告げる。
14:15	<ul style="list-style-type: none"> 《クロストーク》 ・ もとのエキスパート班に戻り、ジグソー班で聞いてきたことをもとにして、進行形、動名詞、現在分詞について理解を深める。 ・ 新しい絵を見て、進行形、動名詞、現在分詞を使って作文する。 ・ 数班に作った英文を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明することによって、自分の理解度を自ら知ることができることを伝える。 ・ また、ジグソー活動で聞いてきた情報をお互い照合することで、自分の理解の修正・深化ができることを伝える。
14:25	<ul style="list-style-type: none"> 《まとめ～個人研究》 ・ 進行形、動名詞、現在分詞について、今日の活動で得たことを書く。 ・ 新たな絵を見て、進行形、動名詞、現在分詞を使って作文する。 ・ アンケート記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に書いたワークシートと比較させ、自分の理解がどのように変化したかを確認するよう伝える。 ・ 本日記入したワークシートを回収する。アンケートも回収する。

備考（クラスの様子、事前に予想される指導上の課題など）

- ①おとなしいクラスで、日ごろのグループ発表や読み発表について、手を挙げる生徒が少ない。各活動でどの程度、活発に話し合いができるか。
- ②2年生について、「進行形」と、「動名詞をbe動詞の補語で用いた場合」の誤用が顕著である。そのことについてどれくらい理解の適正化を図れるか。